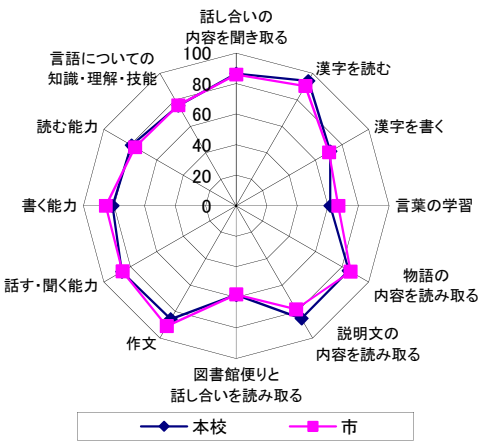


宇都宮市立御幸小学校 第6学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|        |                 | 本年度  |      |
|--------|-----------------|------|------|
|        |                 | 本校   | 市    |
| 問題の内容別 | 話し合いの内容を聞き取る    | 86.5 | 85.9 |
|        | 漢字を読む           | 94.4 | 90.4 |
|        | 漢字を書く           | 71.1 | 70.1 |
|        | 言葉の学習           | 61.6 | 66.9 |
|        | 物語の内容を読み取る      | 85.0 | 86.5 |
|        | 説明文の内容を読み取る     | 85.3 | 78.4 |
|        | 図書館便りと話し合いを読み取る | 58.4 | 58.1 |
|        | 作文              | 85.8 | 91.0 |
| 観点別    | 話す・聞く能力         | 86.5 | 85.9 |
|        | 書く能力            | 81.0 | 85.4 |
|        | 読む能力            | 79.2 | 76.6 |
|        | 言語についての知識・理解・技能 | 75.7 | 76.0 |



★指導の工夫と改善

| 問題の内容           | 本年度の状況                                                                                           | 今後の指導の重点                                                                                                                                        |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 話し合いの内容を聞き取る    | ・平均正答率は、市の平均をやや上回っている。ほとんどの児童が、話し合いの聞き取りができていた。ただし、自分の立場や意図をはっきりさせながら、自分の意見を話すことに関しては、市の平均を下回った。 | ・話し合いの流れに沿った意見が言えるよう、論点が何かを考えながら聞くことができるような問題に取り組んだり、学習に取り入れたりしていく。                                                                             |
| 漢字              | ・市の平均を4ポイント以上、上回っている。6年で学習する漢字は覚えているが、5年までで学習する漢字で習得しきれていないものがあつた。                               | ・年3回のチャレンジテストへの継続的な取り組みの成果が表れている。<br>・ぐんぐんタイムを活用するとともに、チャレンジテストを目標にしながら、小テストを積み重ねていく。<br>・前年度既習の漢字についても、小テストで取り上げるようにする。                        |
| 言葉の学習           | ・平均正答率は市の平均を下回る。特に敬語の使い方に関する問題の正答率が市の平均を6ポイント下回った。敬語の使い方については、5年生で学習したが、知識が身に付いていない児童が多かった。      | ・限られた時間ではあるが、6年生でも敬語の使い方を復習する機会を授業で設けるようにする。また、普段の生活においても、敬語の使い方を適宜指導していく。<br>・俳句の基本的な形を繰り返し、丁寧に指導し、俳句の基礎を身に付けさせるようにする。                         |
| 物語の内容を読み取る      | ・平均正答率は市の平均をやや下回る。登場人物の心情の読み取りはできるが、細かい背景描写に気を付けて、登場人物の様子を読み取る力が市の平均を下回っている。                     | ・朝の読書や読み聞かせ等の機会を生かし、文学的文章に触れる時間を十分に確保していく。<br>・読み取ったことを互いに伝え合い読みを深めていく学習活動を今後も積み重ねていく。                                                          |
| 説明文の内容を読み取る     | ・平均正答率は市の平均を7ポイント以上上回った。特に、文章の内容を読み取り他の例に当てはめて考えることについては、市の平均を大きく上回った。                           | ・教室に常時国語言葉を掲示したが、接続詞や指示語に注意して、それらをヒントに文章全体の構成を自分でつかめる力を高めることに繋がった。<br>・年間通して、教科書の説明文単元で繰り返し段落相互の関係や、文章の構成をつかむ学習を積み重ねられるように、国語言葉の共有の研究を今後も進めていく。 |
| 図書館便りと話し合いを読み取る | ・市の平均とほぼ同じであった。資料を正しく読み取り、適切にまとめることができなかった。                                                      | ・資料から必要な情報を読み取り、目的に合わせてまとめる力をつけるために、資料の読み取り方の基本を丁寧に教える。                                                                                         |
| 作文              | ・平均正答率は市の平均を下回る。2段落構成で文章を書くことができなかった。また、自分の意見とその理由を区別して書くことが確実に身に付いていないと言えない。                    | ・目的に応じた文章の書き方の形式について総合的な学習の時間や校外学習との関連で取り上げることで実際に書く機会を増やしていく。<br>・指導資料を掲示物として残しておくことで、活用を図る。                                                   |